

研究協力をお願い

昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<p>スーパー救急病棟における急性精神病の診断学的検討 ～統合失調症との比較と非定型精神病診断の有用性について～</p>
<p>1. 研究の対象および研究対象期間 2010年1月1日から2014年12月31日に昭和大学附属烏山病院スーパー救急病棟に入院された患者さんの診療録を用います。</p>
<p>2. 研究目的・方法 烏山病院は、単科精神病院であるが大学附属病院であり、精神科救急入院料算定病棟（スーパー救急病棟）を2病棟有している急性期型の精神病院です。スーパー救急病棟などの急性期病棟には、時に急性一過性精神病性障害と診断されて入院する患者さんが存在します。急性精神病の診断は、行政的に緊急性を示唆できる、異種性のあるものを一括できるなどの利点がありますが、異種性が著しいものを混同し、学術対象となりにくいという難点があります。さらに、患者さんやご家族さまに対する治療や予後についての説明が曖昧になり、内服や治療継続の必要性を理解させることが困難になる恐れがあります。今回我々は、2010年1月1日～2014年12月31日に烏山病院A3・A4病棟に入院した患者の入院カルテを元に、ICD-10により急性一過性精神病の診断のまま退院となった患者さんと、主要疾患、とくに混同されやすい統合失調症の患者さんとの背景と治療について集計、比較し治療の傾向を分析するとともに、各症例が非定型精神病診断基準準備委員会による、非定型精神病的診断基準を満たしているかについて調査を行います。</p> <p>研究期間 2018年3月28日～2018年4月30日まで</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類 2010年1月1日から2014年12月31日に昭和大学附属烏山病院のスーパー救急病棟に入院した患者さんの診療録から、以下の情報を抽出します。 年齢、性別、主病名、ICDコード、入院前治療状況、入院時の状態像、不安、不眠の有無、罹病期間、入院回数（当院以外への入院も含め）、入院時形態（精神保健福祉法）、措置解除までの日数（措置の場合）、転帰、隔離の有無、電気けいれん療法の有無、DSP（過感受性精神病）の疑いの有無、ハロペリドール点滴の有無、ハロペリドール点滴最高投与量、ハロペリドール点滴施行日数、入院前同居者、障害年金、生活保護受給の有無、入院時初回処方、スーパー救急病棟在棟期間中の最終処方</p>

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学附属烏山病院（医学部精神医学講座）

氏名：山田 浩樹

住所：157-8577 東京都世田谷区北烏山 6-11-11 電話番号：03-3300-5231

研究責任者：

所属：昭和大学附属烏山病院（医学部精神医学講座）研究責任者：山田 浩樹